

⑥ 鶴ヶ島市、川越市、坂戸市



研修会名：「地域でつながる若者のちから
～若者と一緒に考えるみんなの“ふ・く・し”～」

参加者数：113名（ボランティア、学生、社協職員等）

日時：令和7年5月17日（土） 13:15～16:00

会場：女子栄養大学坂戸キャンパス 文化表現ホール

内 容

【基調講演】「若者と一緒に考える地域共生社会とは」
日本福祉大学 学長 原田正樹氏

【実践報告】ファシリテーター：女子栄養大学 深田耕一郎氏

- ・おおぞら高校川越キャンパス卒業生「おおぞらサロン」
- ・筑波大付属坂戸高校卒業生こども食堂「ひこうき雲」
- ・公益社団法人西入間青年会議所「若者と共創するまちづくり」

【グループワーク】

「若者と一緒に考えよう!～地域共生社会を実現するには～」

【各グループ発表】

【講評】原田正樹氏

【若者のふくし教育研究会のこれから】小川和広氏



参加者全員での集合写真



グループワークの様子

その他の取組状況

- ・鶴ヶ島市福祉教育・ボランティア学習研修会
日時：令和7年8月1日（金） 13:30～16:00
会場：特別養護老人ホームみどりの風鶴ヶ島
- ・情報交換会（日高市社協も参加）
日時：令和7年12月25日（木） 10:00～12:00
会場：鶴ヶ島市役所

参加者の感想（研修のアンケート等）

- ・地域共生社会のために多くの世代が関わるのが大事だと思った。
- ・「やらされている」のではなく、得意な分野で「できる事」「やってみたいこと」を形にし、自発的に取り組む姿に感心した。
- ・地域を見守る高齢者から働く世代の方、未来を担う学生と福祉を語り合う場とつながりの場になったのがよかった。



おおぞら高校生徒さんによる発表

主催

【彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワークあったかウェルねっと/若者のふくし教育研究会“わかふく” / 鶴ヶ島市社協/坂戸市社協/ 川越市社協/鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会】

プラットフォームを実施した感想

プラットフォームを通じて多様な方々とつながるきっかけを得ることができた。特に、近隣社協の福祉教育担当者と関係を築けたことで、情報交換や相互協力の可能性を確認することができた。プラットフォームの中で、さまざまな意見を共有しながら相談でき、顔の見える関係性のもと、新たな福祉教育への意識づくりや実践につながった。

今後の取り組みについて意気込み

今後は、広域的な福祉教育研修会の実施を、プラットフォームを活用して検討している。広域連携の強みを生かし、専門性の高い講師を招くとともに、教育センター等の関係機関や福祉教育の担い手と連携しながら、福祉教育の在り方について共に考える機会となる研修を行いたい。